

| | | | |
|---|----------|------|----|
| 授業科目名 | スポーツ調査演習 | 単位数 | 2 |
| 担当教員名 | 渋谷聡 | 担当形態 | 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | | | |
| <p>「学位授与の方針」との関係 本授業は、「学位授与の方針」のうち、AからFの項目すべてに該当する。</p> | | | |
| <p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) スポーツにおける情報を収集する方法を身につけることができる。 (2) 収集したデータを解析することができる。 (3) 解析したデータを読み取ることができる。</p> | | | |
| <p>授業の概要</p> <p>近年、スポーツのパフォーマンスを向上させるため、あるいはスポーツ現場の課題を解決するために、スポーツでの現象や行動をデータ化し、分析することを求められている。これらの現象や行動は、目に見えるものばかりではなく、数値（データ）化するのは容易ではない。 本授業では、特に目に見えないスポーツでの現象を数値化して収集し、データとして解析することによって、様々な角度からスポーツの現象について検討していく。</p> | | | |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：スポーツ現場で求められているもの 第2回：スポーツの現象を探る 第3回：情報とは何か 第4回：調査の種類と特徴(1)：アンケート調査 第5回：調査の種類と特徴(2)：質問紙調査 第6回：スポーツと情報スポーツでの情報を収集する(1)：目に見えるもの 第7回：スポーツでの情報を収集する(2)：目に見えないもの 第8回：データをまとめる（データベース化） 第9回：データを加工する 第10回：データを解析する(1)：t検定 第11回：データを解析する(2)：分散分析 第12回：データを解析する(3)：χ^2分析 第13回：データを解析する(4)：相関分析 第14回：データを読み取る 第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p> | | | |
| <p>スクーリングでの学修内容</p> <p>情報の収集方法と、データの解析方法、解析結果の読み取りを実践的に行う。 (主に、第1回～第14回の内容を含む。)</p> | | | |
| <p>テキスト</p> <p>高橋信 (2004) 『マンガでわかる統計学』 オーム社 ISBN：4274065707C3041</p> | | | |
| <p>参考書・参考資料等</p> | | | |

- (1) 柏木吉基 (2012) 『明日からつかえるシンプル統計学』技術評論社 ISBN : 9784774150543C3036
- (2) 石村貞夫 (1999) 『すぐわかる統計処理』東京図書 ISBN : 4489004370C0041
- (3) 鍵和田京子、石村貞夫 (2004) 『マンガ必殺！統計攻略法』シーエムシー出版 ISBN : 48823176211041※その他、必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%) を総合して評価する。